

2017

6/18 (日)

13:00~15:15
(受付開始 12:30)

がん哲学外来*ピンクリボン シンポジウム

病気も単なる個性 ~海から出よう~



会場

鎌倉能舞台

鎌倉市長谷 3-5-13

定員

150名

(事前申込・先着順)

参加費

1,000円 茶・菓子込

(当日お支払い下さい)



初夏の鎌倉・紫陽花の時期、能舞台という静かで厳かな雰囲気にも身を置き、さまざまな感動を身体や心で楽しみましょう。「がん哲学外来」カフェのような心地よさも満喫してください。

第1部

【基調講演】

「私らしい個性の活かし方」

土井 卓子

湘南記念病院 乳がんセンター
センター長
「ピンクリボンかながわ」代表

乳がん専門医・日本臨床腫瘍学会暫定指導医
横浜市立大学医学部・同大学院卒業。
国立病院機構横浜医療センターなど、
神奈川県内の医療機関で乳がんの専門家として
長年活躍し、2008年に湘南記念病院にて
乳がんセンターを立ち上げる。



【特別講演】

「病気も単なる個性」

樋野 興夫

順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授
一般社団法人「がん哲学外来」理事長



第2部

パネルディスカッション

がん哲学外来は医師と患者の間の“おせっかい役”として生まれました。第2部はパネラーを招き、土井卓子氏と樋野興夫氏を交えて「ピンクリボンかながわ」とのコラボによるパネルディスカッションです。参加者みんなで学び、感じ、そして考えます。

【総括】 樋野 興夫

1954年島根県生まれ。
米国アインシュタイン医科大学肝臓研究センター、
米国フォックスチェイス癌センター、癌研究会
癌研究所実験病理部部長を経て現在、順天堂
大学医学部病理・腫瘍学教授、医学博士。
2008年「がん哲学外来」を開設。第68回
「保健文化賞」受賞。

【お申込み方法】 メールかお電話にてお申込みください。(裏面参照)

お申込みは定員になり次第、締め切らせていただきます。参加ご希望の方はお早目にお申込み下さい。

主催：湘南こころサロン 共催：ピンクリボンかながわ / カリフォルニア臨床心理大学院

協力：鎌倉市 / 一般社団法人がん哲学外来

がん哲学 外来

とは。



「がん哲学外来」は、自分自身や家族ががんになって初めて死を意識し、同時に自分がこれまでいかに生きてきたか、これからどう生きるべきか、死ぬまでに何をすべきかなどを考える患者側と、患者の病状や治療について真剣に取り組む医療現場との間で、患者や家族の精神的苦痛を軽減させるお手伝いができればという思いから始まりました。

そして、場所は医療機関に限らなくてもいいから、集まりやすく、立場を越えて集う交流の場を作ろうという動きから、「がん哲学外来」が、「対話の場」であるメディカルカフェという形で全国に広がりました。

「がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会」の実現を目指し、より多くのがん患者が、垣根を越えた様々な方との対話により、「病気であっても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添っていきたいと思っている活動です。

会場のご案内

鎌倉能舞台

〒248-0016 鎌倉市長谷 3-5-13

TEL.0467-22-5557

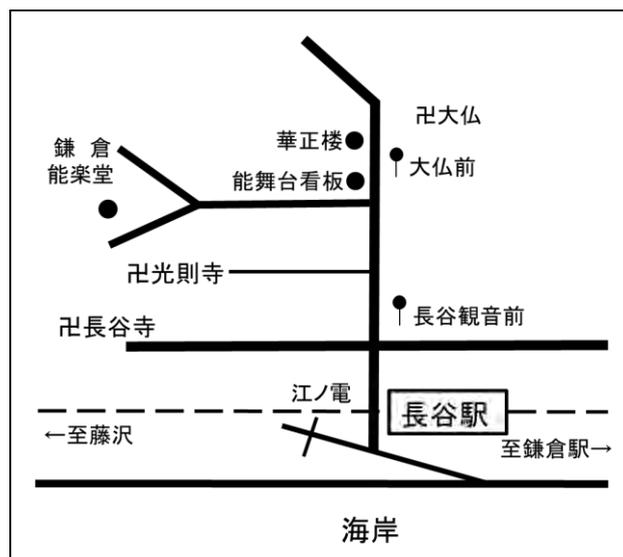
URL. <http://www.nohbutai.com>

◆アクセス/ 江ノ電「長谷」駅下車徒歩7分

JR 鎌倉駅よりバス5分「長谷観音前」

JR 鎌倉駅よりタクシーで10分

◆駐車場/なし



【お申し込み方法】

以下の内容をメールまたはお電話にてお知らせください。

1. お名前
2. メールアドレス
3. 連絡先お電話番号
4. お住まいの都道府県市区
5. 質問など (ご自由に何でもどうぞ)

※ 携帯電話の方は、PCからのメール受信を可能にいただくか、携帯の番号を必ずお知らせください。定員に限りがありますので、担当者が折り返しお返事をいたします。

※ お預かりした個人情報は本シンポジウムの開催に関する目的のみに使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

＊お申し込み・お問い合わせ＊ 湘南こころサロン (中本テリー)

(メールアドレス) dr.teri@live.jp (☎) 080-3443-3215